

2023年度環境経営レポート

(2023年4月～2024年3月)



株式会社 デイリーはやしや

2024年9月14日発行

＜環境経営理念＞

私たちは、安全で品質の高い食品を製造しお客様にお届けするといった企業活動を継続可能なものとするため、はやしやグループ環境経営方針に基づき、廃棄物や炭酸ガスの排出を削減するとともに、資源やエネルギーの有効活用を図る等の環境保全活動を積極的に推進する。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連の法令、規制、協定ならびに、当社が決めた環境保全に関するルールを遵守します。
2. 環境活動を含む企業活動全般をより継続可能なものとするため、SDGsへの取組みを強化します。
3. 製品に使用する原材料ならびに、容器包材等の安全性を優先します。
4. 原材料の調達から、製造、流通、消費、廃棄に至るまでの各段階における環境に与える影響に配慮した商品開発を行います。
5. 廃棄物の発生を抑制すると同時にリサイクルに努め、資源とエネルギーを大切にします。
6. 水を大切に使います。
7. 企業活動における効率化を図り、炭酸ガスの排出を削減します。
8. 地域社会の環境保全活動にも協力します。
9. 環境保全の取り組みを継続的なものとするため、常にPDCA に基づく改善を意識した活動を行います。

制定日：2024年 8月 1日

代表取締役社長 松田 好功

事業活動の概要と環境活動実施体制

2

1.事業所名及び代表者氏名

事業者名：株式会社デイリーはやしや

代表者氏名：代表取締役社長 松田 好功

2.所在地

本社・松本第1工場：長野県松本市和田南西原4010-28

松本第2工場：長野県松本市和田南西原5511-15

千曲工場：長野県千曲市雨宮918

富士山工場：静岡県富士市大淵字元篤3800-3

中越工場：新潟県小千谷市鴻巣町字西原1593-6

3.環境保全関係の責任者及び担当者／連絡先

統括環境管理責任者：管理部 島村 和孝

統括事務局：工場支援室 笹井 正道

TEL：0263-48-1611

FAX：0263-48-1610

E-mail：honsya@d-hayashiya.co.jp

4.事業内容

コンビニエンスストア向け弁当・惣菜、デザートなどの企画開発・製造

2023 年度売上 19,415 百万円

5.事業規模

工場	本社・ 松本第1	松本第2	千曲	富士山	中越
従業員数	269名	221名	222名	401名	379名
延べ床面積	2,640㎡	3,833㎡	5,595㎡	7,370㎡	7,571㎡

6.認証・登録の対象組織

対 象：本社・松本第1工場、松本第2工場、千曲工場、富士山工場、中越工場

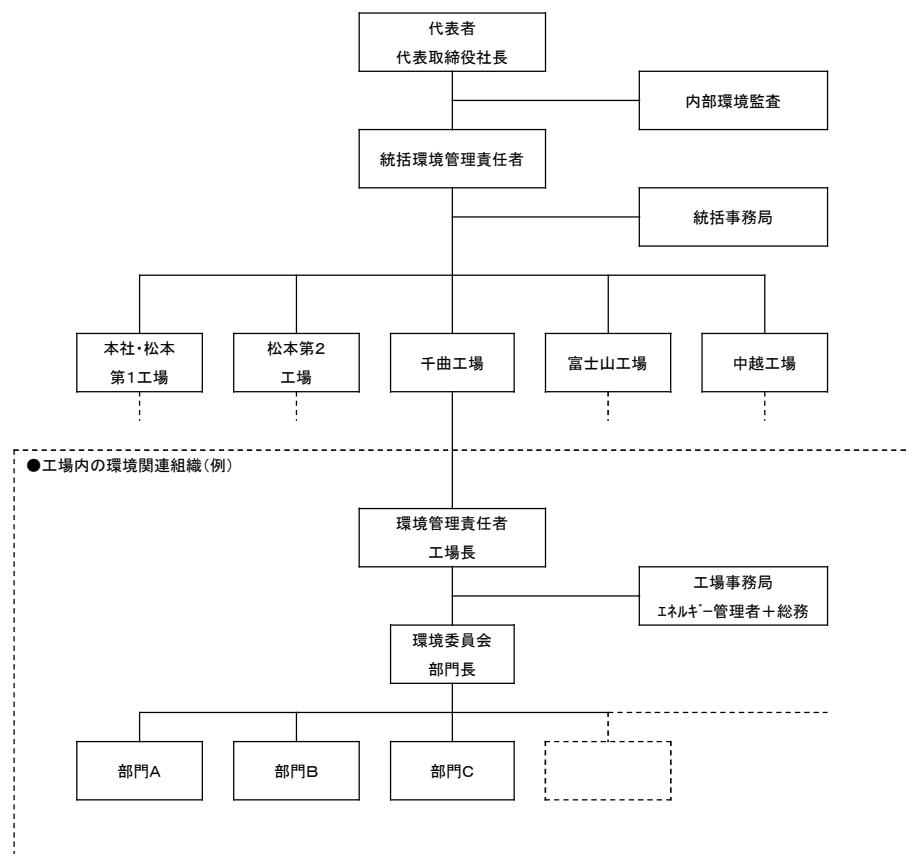
7. SDGs を踏まえた環境活動



環境経営活動実施体制

3

□組織図



※部門については、工場により違うため省略
（各工場のマニュアルに記載）

環境経営活動実施体制

4

□役割責任詳細

役割・責任・権限		役割・責任・権限	
代表者	・環境経営に関する統括責任	環境管理責任者	・工場内全体を統括する
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備		・環境委員会の委員長を兼任
	・統括環境管理責任者を任命		・評価と見直しを実施し必要な指示を行う
	・環境経営方針の策定・見直し		・工場の環境関連文書の審査・承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認	環境委員会	・工場の環境経営システムの運用状況の進捗確認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示		・委員長を工場長とし、構成員を部門責任者とする
統括環境管理責任者	・環境管理システムを構築、実施、管理	工場事務局	・環境活動計画実施状況の評価(四半期ごとに環境活動計画に記載)
	・統括事務局を任命、事務局責任者として運営		・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局
	・環境関連文書の審査・承認		・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告		・環境活動の実績集計
内部環境監査	・環境に関する内部監査の計画		・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境に関する内部監査の実施・報告		・工場の関連文書及び記録の整備・保管
統括事務局	・統括環境管理責任者の補佐、及び全社の実行业務の支援を行う		部門長
	・全社に係る文書の作成(環境関連法規制等取りまとめ表、環境目標など)	・自部門における環境営方針の周知、教育、訓練の実施	
	・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告	
	・全社環境活動の実績集計	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施	
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口	・自部門の想定される事故及び緊急事態対応の為の手順書作成	
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)	全従業員	・試行・訓練の実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施		
			・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
			・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標及び実績（全体）

5

活動項目	単位	2023年度		
		目標値	実績	評価
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	15,861,930	16,090,738	×
水使用量	m³	561,813	615,976	×
廃棄物排出量 (食品廃棄物を除く)	Kg	3,144,906	2,994,913	○
食品廃棄物	Kg	1,606,878	1,536,075	○
発生量			440,900	
発生抑制量			1,313,896	
再生利用量			222,179	
減量量			0	
廃棄物処理量			0	
再生利用等実施率	%	95%以上維持	100.0%	○
化学物質の適正管理	次ページ以降の活動項目をご覧ください			
製品への環境配慮	次ページ以降の活動項目をご覧ください			

2024年度	2025年度
中期目標	
前年比1%減	前年比1%減
前年比1%減	前年比1%減
前年比1%減	前年比1%減
前年比1%減	前年比1%減
前年比1%減	前年比1%減
95%以上維持	95%以上維持

●目標値は、前年度実績より1%削減とする。

主な環境負荷の実績

6

活動項目	単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
二酸化炭素の削減	kg-CO2	11,164,038	12,557,329	16,022,152	16,090,738
水使用量の削減	m ³	461,247	494,180	567,488	615,976
廃棄物の削減 (食品廃棄物を除く)	kg	2,693,140	2,612,463	3,176,673	2,994,913
食品廃棄物の削減	kg	1,431,914	1,602,766	1,623,109	1,536,075
再生利用等実施率	%	98.3%	99.1%	99.2%	100.0%

※二酸化炭素排出係数 0.471kg-CO2/kWh(東北電力の2022年度の調整後排出係数)
0.459kg-CO2/kWh(中部電力ミライズの2022年度の調整後排出係数)
0.363kg-CO2/kWh(CDエナジーダイレクトの2022年度の調整後排出係数)

●2023年度から中越(新工場)が対象になったため、2021年度実績より値を見直しました。

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（1）

7

活動項目	工場	目標実績	評価	取組結果	次年度の取組計画
電力による 二酸化炭素の削減 (kg-CO2) ・温度管理の徹底 ・省エネ巡回によるチェックと是正 ・LED化や人感センサーの取付け実施	第1・本社	1,273,160	× 104.4%	・照明のLED化を進めた	・季節によるエアコンの温度設定最適化 ・照明のLED化
		1,328,756			
	第2	1,195,704	× 103.6%	・照明のLED化を進めた（一部、人感センサー付き）	・照明のLED化（一部、人感センサー付き）
		1,238,988			
	千曲	1,075,179	× 103.6%	・エアコン温度設定の適切な管理に取り組んだ ・室外機に日除けを設置した	・番重洗浄機の運用効率向上 ・トンネルフリーザーの設定見直し
		1,113,705			
	富士山	1,988,933	× 104.7%	・省エネ巡回によりチェックと是正を行った ・ウォーミングアップ時間の管理（設定見直し）を行った	・省エネ巡回によるチェックと是正 ・オンサイトPPA導入 ・機器のウォーミングアップの適正化及び管理
		2,083,330			
	中越	2,980,246	○ 94.6%	・電力の見える化を図った ・外調機のスケジュール運転を行った ・外壁周りの照明を人感センサー付きに変更した	・外調機のスケジュール運転
		2,818,627			

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（2）

8

活動項目	工場	目標実績	評価	取組結果	次年度の取組計画
ガスによる 二酸化炭素の削減 (kg-CO ₂) ・非稼働時間の機器を停止 ・管理標準による管理の徹底	第1・本社	1,251,741	× 104.3%	・ボイラーのバイパス工事により効率をアップさせた	・使用蒸気圧力の適正化 ・保温材の更新
		1,305,156			
	第2	881,492	× 105.2%	・省エネ機器への更新を行った(麵ボイル機) ・管理標準による管理の徹底に取り組んだ	・測定ポイント見える化の強化。工場の稼働状況の把握を行い、不具合の早期発見・対応を行える体制作り ・管理標準による管理の徹底
		927,323			
	千曲	1,329,461	○ 95.0%	・蒸気配管へエコジャケットを設置した ・省エネ機器への更新を行った(蒸気釜・パスタボイル機)	・スチームトラップ診断
		1,263,399			
	富士山	1,822,933	× 109.5%	・ウォーミングアップ時間の管理(設定の見直し)に取り組んだ ・蒸気配管の接続部にエコジャケットを装着した	・省エネ管理標準に基づく管理 ・蒸気ボイラーの設定圧力見直し
		1,996,442			
	中越	1,966,400	○ 97.2%	・スチームトラップを省エネタイプに変更した	・スチームトラップを省エネタイプに変更
		1,911,643			

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（3）

9

活動項目	工場	目標実績	評価	取組結果	次年度の取組計画
水使用量の削減 (m ³) ・節水シールの取付け	第1・本社	102,432	○ 99.0%	・設備更新による節水を行った(番重洗浄機)	・節水部品の取付け(ガン等)
		101,414			
	第2	121,896	× 114.5%	・漏水箇所のパトロールにより破損・漏れのチェックと早期是正を行った ・設備更新により節水を行った(麵ボイル機)	・漏水箇所のパトロールによる破損・漏れのチェックと早期是正 ・測定ポイント見える化の強化。工場の稼働状況の把握による不具合の早期発見対応を行える体制作り
		139,630			
	千曲	47,821	× 102.9%	・節水部品の取り付けを行った ・節水教育に取り組んだ	・チラー水使用機器の運用確認(チラー水使用量の削減)
		49,184			
	富士山	162,958	× 110.6%	・節水教育に取り組んだ ・漏水箇所のパトロールにより破損・漏れのチェックと早期是正を行った	・節水教育 ・漏水箇所のパトロールによる破損・漏れのチェックと早期是正
		180,272			
	中越	126,706	× 114.8%	・節水教育に取り組んだ	・炊飯水釜の削減 ・炊飯ラインサニテーション方法の見直し
		145,476			

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（4）

10

活動項目	工場	目標 実績	評価	取組結果	次年度の取組計画
廃棄物の削減 （食品廃棄物を除く） （kg） ・ペーパーレスの推奨 ・作業ミスによる廃棄の削減	第1・本社	650,367	○ 92.8%	・ゴミ分別化の徹底により食品残さリサイクルの向上と正規処理を図った ・ロットテストの効率化により原材料ロスを低減させた	・ペーパーレス化 ・フィルム包材、コンテナ類の再利用
		603,488			
	第2	616,208	○ 96.0%	・ライナーレスラベルへの更新(2台)を行い、巻取り紙の削減を行った	・ライナーレスラベルへの更新(2台)による、巻取り紙の削減 ・廃プラの処理量の削減の検討
		591,473			
	千曲	431,180	○ 99.0%	・原材料発注精度向上の取組により廃棄量を削減した ・見込みロスの改善により廃棄量を低減させた	・原材料発注精度向上取組による廃棄量の削減 ・見込みロス改善による廃棄量低減
		427,072			
	富士山	722,522	○ 96.2%	・ゴミ分別化ルールの徹底を図った	・ライナーレスラベラー導入によるラベル台紙の削減 ・ゴミ分別化のルールを徹底
		695,420			
	中越	724,631	○ 93.5%	・作業ミスによる廃棄の削除に取り組んだ	・包装の直行率を上げる(廃プラの削減)
		677,460			

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（5）

11

活動項目	工場	目標実績	評価	取組結果	次年度の取組計画
食品廃棄物の削減 (kg) ・原材料賞味期限切れの防止 ・製造ミスの縮減	第1・本社	195,380	× 115.3%	・社販拡大による廃棄物削減に取り組んだ ・ロットテスト削減による原材料ロスの低減に取り組んだ	・廃棄ロスの削減 ・過剰生産、盛り不足による廃棄物削除
		225,249			
	第2	372,993	× 106.0%	・廃棄ロスの削減に取り組んだ ・野菜ゴミ粉碎脱水機を継続的に使用した	・廃棄ロスの削減 ・野菜ゴミ粉碎脱水機の継続使用 ・開封鮮度延長による日限切れの廃棄削減対策
		395,518			
	千曲	168,549	○ 90.1%	・小集団活動による廃棄削減に取り組んだ ・資材発注精度向上の取組みを実施した	・開封日限切れ削減対策 ・パスタの歩留り管理による廃棄量削減
		151,828			
	富士山	474,634	○ 85.8%	・魚肉類のデットストック及び端材の社販を促進し、廃棄物を削減した	・魚肉類のデットストック及び端材の社販促進による廃棄の削減 ・炊飯切上げロスの縮減、廃棄ご飯の持ち帰りによるごみの削減
		407,278			
	中越	395,321	○ 90.1%	・製造ミス対策に取り組んだ	・確定生産を増やす ・歩留りの向上
		356,202			

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組計画（6）

12

活動項目	工場	取組結果	次年度の取組計画
再生利用率等実施率 （％） ・95％以上維持	全工場	・現状維持	・現状維持
化学物質の適正管理 ・適正使用量の遵守	全工場	・代替品の検討 ・適正使用量の遵守	・可能であれば代替品への切替え ・適正使用量の遵守 ・化学物質管理者の選任と保護具着用管理責任者の選任による管理体制の強化
製品への環境配慮 ・ロットテストの精度向上 ・稼働率の向上	全工場	・長鮮度商品・地場産商品の導入を促進した ・製造不良や過剰製造による廃棄の防止・削減に取り組んだ ・余剰食材の従業員向け販売を行った	・製造不良や過剰製造による廃棄の防止・削減 ・余剰食材の従業員向け販売

※CO2排出量削減については主要な2つ（電力・ガス）について活動

No.	教育訓練名称	対象者 実施日	講師	内容
1	全従業員教育	全従業員 2023.4	社長	環境経営方針の揭示
2	管理者教育	部署長 毎月	担当者	省エネ会議で情報の共有、対策検討
3	入社時教育	新入社員 入社時	事務局	動画によるEA21の概要説明
4	緊急事態訓練	全従業員 2022.9～10	担当者	緊急事態の訓練(火災訓練)
5	緊急事態訓練	全従業員 2023.3	担当者	緊急事態の訓練(火災訓練)

No.	緊急事態と影響の内容	主な対応方法
1	火災発生時の対応 部門(全部門)	・火災を発見したら、事務所に連絡し消火器で初期活動を行う ・初期消火が不可能な場合は消防署へ通報する ・避難場所(駐車場)へ避難する ・各課の責任者は課の人員を確認し、自衛消防隊長へ報告する ・社長・自衛消防隊長の指示により、救助・対処等を行う
2	地震発生時の対応 部門(全部門)	・地震が発生したら、ガラス窓や転倒のおそれがある棚・機械から離れて、机・作業台の下に身を隠す ・揺れが収まったら、避難場所(駐車場)へ避難する ・各課の責任者は課の人員および怪我人の有無を確認し、自衛消防隊長へ報告する ・各課では、工場建屋・設備等の破損状況を点検し工場長に報告する

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用法	法規制内容
省エネ法	原油換算値 1500kℓ 以上は定期報告義務
食品リサイクル法	食品廃棄物 100t 以上、定期報告義務
廃棄物処理法	契約書・許可証、マニフェスト管理、保管場所の表示(掲示板)、現地確認
下水道法	排水基準の遵守(記録の保管)
水質汚濁防止法	排水基準の遵守(記録の保管)
浄化槽法	保守点検、清掃、法定検査(記録の保管)
フロン排出抑制法	管理の適正化(簡易・定期点検)
毒物及び劇物取締法	紛失防止措置、保管場所の表示(掲示板)
消防法	防火管理者の選任、管理の適正化(定期点検・避難訓練)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等ありません。

実施日：2024年9月1日

当社の会社全体の前年度環境経営目標についての実績は、廃棄物の削減については目標達成したものの、CO2、水使用量については目標未達となりました。また、各工場の目標達成の項目や度合いのバラツキも具現化しました。

次年度以降は、各工場はより一層主体的な環境活動への取組みを強化するとともに、本社は個別工場の環境活動計画進捗への関与、全社環境会議による好事例の共有、内部監査室監査の活用等の施策を積極的に展開し、全体的な環境活動のレベルアップを図って下さい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり